



## 彫刻コンクールで学友が大賞を受賞



彫刻家として活躍する米山学友、キムキョンミンさん（2007-08/東京多摩グリーンRC）の作品が、「第27回UBEビエンナーレ」（現代日本彫刻展）で大賞を受賞しました。

同展は、国内で最も古い歴史を持つ野外彫刻国際コンクールです。2年に1度、山口県宇部市で開催され、今回は世界29カ国（日本含む）、277点もの応募作品の中から、キムキョンミンさんの「リメンバー宇部」が大賞を射止めました。外国人女性が大賞を受賞したのは1961年に同展が始まって以来初めてのことです。

キムさんの作品に共通するテーマは“視覚で感じる水音”。「オフィスビルやホテルのエントランスなどにも作品を飾ってもらい、末永く多くの人々に作品を愛していただけたら嬉しい」と、語っていただきました。



UBEビエンナーレで大賞を受賞した「リメンバー宇部」

## 寄付金速報 — 米山月間のご支援に感謝 —

10月までの寄付金は前年同期と比べて9.0%増（普通寄付金：2.3%増、特別寄付金：14.1%増）、約4,700万円の増加となりました。

今年は財団設立50周年の米山月間であり、50周年記念のご寄付をはじめ多数のご支援を

いただきました。米山学友を含め、多くの方々からのご寄付に心から御礼申し上げます。上期も残り2カ月弱となりました。引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 2018学年度奨学金申し込み状況

2018学年度のロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士/地区奨励）には、指定校534校（前年度532校）から1,355人（1,358人）が推薦されました。被推薦者の国籍・地域は、中国53.5%（51.5%）、ベトナム11.7%（11.0%）、韓国9.4%（11.9%）、そのほか、台湾、マレーシア、ネパール、インドネシアの順となっています。近年ベトナムの増加が著しく、今回は初めて、申し込み段階で韓国を越えて国籍別の第2位となりました。

被推薦者の奨学金別応募状況は、博士課程20.5%（20.8%）、修士課程42.7%（41.0%）、

学部課程35.0%（36.5%）、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、5地区11校から計24人の応募がありました。現役奨学生の延長制度「クラブ支援奨学金」には9地区14クラブから、また、促進期間中の「海外応募者対象奨学金」（個人応募）には、有効申込数77件の応募がありました。

11月中旬に各地区へPDF化した応募書類を郵送し、2月初旬までに地区選考委員会による書類選考・面接試験が実施され、2月中旬には新規採用573人枠（2017年11月現在）が決定します。